



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 株式会社クリエイティブ
 コード番号 4336 URL <https://www.crie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上口 裕司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 楠戸 三則
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 087-822-8898

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,139	1.8	116	28.1	133	23.7	80	27.1
2020年3月期第2四半期	3,196	0.8	90	41.5	107	14.1	63	21.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 86百万円 (25.5%) 2020年3月期第2四半期 69百万円 (15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	34.88	
2020年3月期第2四半期	27.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	2,178	1,235	53.2	501.27
2020年3月期	2,146	1,174	51.3	476.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,159百万円 2020年3月期 1,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,230	2.8	106	27.5	142	21.6	85	14.2	36.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,340,000 株	2020年3月期	2,340,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	27,473 株	2020年3月期	27,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,312,527 株	2020年3月期2Q	2,312,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の収束時期等、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等により企業活動が停滞し、景気が急速に後退しました。人材サービス業界に関しては、企業の採用活動の休止や凍結が進み、有効求人倍率は1.04倍と8ヶ月連続で低下し、完全失業率は3.0%に上昇するなど、雇用環境は急速に悪化してきております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループでは、事業の継続及び従業員の安全・安心を最優先事項とし、テレワークや時差出勤、オンラインによる登録面談やフォローなどの対策を講じるとともに、国内外の出張を自粛し、会議のオンライン化を進めることにより、事業活動の効率化と経費節減を果たすことができました。

また、コーポレートスローガン「ひとに翼を。」を掲げ、女性の労働参加率の向上、海外人材の活用、障がい者の雇用支援など、中四国の労働市場の現状に即した地域経済の活力の維持・向上に必要な施策の展開により、多様な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

なお、昨年ベトナムに設立した「HR ANABUKI VIETNAM CO., LTD.」（非連結子会社）は、海外渡航禁止の影響で2020年10月からの活動となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高が3,139,333千円（前年同四半期比98.2%）と僅かに減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響による経費節減及び投資の先送りなどにより、営業利益は116,323千円（同128.1%）、経常利益は133,247千円（同123.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は80,665千円（同127.1%）と前年同四半期比で増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より、社内組織の見直しに伴って、経費配分を変更しております。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の営業利益を変更後の当期と同じ条件で算定した数値と比較しております。

各セグメントの営業利益の合計額は311,675千円ですが、全社費用等の調整（調整額△195,352千円）により、四半期連結財務諸表の営業利益は116,323千円となっております。

① 人材派遣事業

当事業の売上高は1,693,743千円（前年同四半期比99.1%）、営業利益は155,966千円（同113.5%）となりました。

当社グループの主力である当事業では、2020年4月からの同一労働同一賃金による派遣労働者の待遇改善に合わせて行った派遣先との交渉による派遣料金の単価アップが実現したことで、稼働人数減の影響を吸収することができました。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により新規オーダーの動きが鈍くなっており、先行きが不透明となっております。

② アウトソーシング事業

当事業の売上高は1,169,852千円（前年同四半期比96.1%）、営業利益は43,421千円（同62.6%）となりました。

株式会社クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業では、主たる取引先からの受注が減少したことや、一部の受託業務においては稼働予定の外国人労働者が入国できなかったこと等により、前年同四半期実績を下回りました。また、当社単体のアウトソーシング事業は、概ね堅調に推移いたしました。

なお、当社は、株式会社ママスクエアとの間に締結したフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づき、「クリエ×ママスクエア高松」及び「クリエ×ママスクエア広島」に続いて、3拠点目となる未就学児の母親を対象とした見守りスペース付オフィス「クリエ×ママスクエア松山」を愛媛県松山市に開設し、2020年10月から事務系業務の請負を開始しております。

③ 人材紹介事業

当事業の売上高は94,726千円（前年同四半期比107.6%）、営業利益は79,926千円（同105.7%）となりました。

収益性の高い当事業では、東京と大阪の「中国・四国UIターンセンター」を主軸にしたUIターン転職が好調であったこと、契約満了に伴う派遣労働者の派遣先での直接雇用が増加した結果、2020年4月入社の新入社員が増加し、前年同四半期の実績を上回りました。しかしながら、企業の中途採用活動の抑制によって求人数が減り、採用基準の厳選化や採用期間の長期化の傾向があります。

なお、海外人材活用の取組みの一環として、前期末からベトナム人の高度人材を地域企業に紹介するサービスを開始し、2019年9月には、特定技能外国人の就労支援を行う登録支援機関としての登録を受けております。

④ 採用支援事業

当事業の売上高は168,166千円(前年同四半期比106.3%)、営業利益は28,810千円(同258.0%)となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、売上は概ね堅調に推移し、テレワークなどによる交通費等の経費節減により、前年同四半期の営業利益を上回りました。

⑤ その他

再就職支援、研修・測定サービスなど、上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は12,843千円(前年同四半期比54.1%)、営業利益は3,550千円(前年同四半期47.9%)となりました。

研修・測定サービスの売上が、新型コロナウイルス感染拡大により、受託した研修のキャンセルや延期が相次ぎ、前年同四半期の実績を下回りました。

なお、2020年4月に香川県坂出市に発芽ニンニクの栽培・熟成製造を行うサテライトオフィス「ウエル工房」を開設し、障がい者の法定雇用率の課題を抱える企業向けの採用代行、仕事と働く場の提供及び定着サポートを行う、障がい者雇用支援サービスを開始しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ31,621千円増加して2,178,246千円となりました。これは、現金及び預金の増加(1,108,649千円から1,183,425千円へ74,775千円増)などによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ28,833千円減少して942,954千円となりました。これは、未払消費税等の減少(122,006千円から101,097千円へ20,909千円減)や、未払費用の減少(413,504千円から402,248千円へ11,256千円減)などによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ60,454千円増加して1,235,291千円となりました。これは、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動(751,932千円から809,472千円へ57,539千円増)などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期末より1.9ポイント上昇して53.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、2020年8月6日付当社「2021年3月期 業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表いたしました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料及び2020年11月6日付当社「2021年3月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,108,649	1,183,425
売掛金	685,931	618,724
仕掛品	458	14,212
原材料及び貯蔵品	1,044	634
関係会社短期貸付金	50,000	50,000
前払費用	20,006	30,570
その他	2,462	6,191
貸倒引当金	△936	△868
流動資産合計	1,867,617	1,902,890
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	51,769	55,212
工具、器具及び備品(純額)	16,892	15,176
有形固定資産合計	68,662	70,389
無形固定資産		
のれん	2,197	-
ソフトウェア	23,077	18,189
電話加入権	3,724	3,724
無形固定資産合計	28,999	21,913
投資その他の資産		
投資有価証券	2,051	2,474
関係会社出資金	28,457	28,457
繰延税金資産	79,351	76,501
差入保証金	69,351	73,427
その他	2,133	2,190
投資その他の資産合計	181,345	183,052
固定資産合計	279,007	275,355
資産合計	2,146,624	2,178,246

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	16,000	16,000
1年内返済予定の長期借入金	70,000	70,000
未払金	91,150	86,714
未払費用	413,504	402,248
未払消費税等	122,006	101,097
未払法人税等	41,165	48,070
預り金	7,761	13,360
賞与引当金	80,940	81,991
その他	5,806	3,879
流動負債合計	848,334	823,360
固定負債		
退職給付に係る負債	123,453	119,594
固定負債合計	123,453	119,594
負債合計	971,788	942,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	751,932	809,472
自己株式	△6,679	△6,679
株主資本合計	1,100,972	1,158,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	384	678
その他の包括利益累計額合計	384	678
非支配株主持分	73,479	76,099
純資産合計	1,174,836	1,235,291
負債純資産合計	2,146,624	2,178,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,196,193	3,139,333
売上原価	2,532,347	2,478,489
売上総利益	663,845	660,844
販売費及び一般管理費	573,071	544,520
営業利益	90,774	116,323
営業外収益		
受取利息	4	405
受取配当金	19	19
助成金収入	15,419	16,021
その他	1,915	904
営業外収益合計	17,359	17,351
営業外費用		
支払利息	419	426
為替差損	26	-
営業外費用合計	445	426
経常利益	107,688	133,247
税金等調整前四半期純利益	107,688	133,247
法人税、住民税及び事業税	35,299	43,911
法人税等調整額	3,217	2,720
法人税等合計	38,516	46,632
四半期純利益	69,171	86,615
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,696	5,950
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,475	80,665

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	69,171	86,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	79	294
その他の包括利益合計	79	294
四半期包括利益	69,250	86,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,554	80,959
非支配株主に係る四半期包括利益	5,696	5,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに重要な変更はありません。

当社グループでは、繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損処理等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による売上高等への影響が、引き続き当連結会計年度末程度の期間にわたると仮定しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,708,576	1,217,710	88,028	158,154	3,172,470	23,723	3,196,193	—	3,196,193
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	743	—	—	12,300	13,043	18	13,062	△13,062	—
計	1,709,320	1,217,710	88,028	170,454	3,185,513	23,742	3,209,256	△13,062	3,196,193
セグメント利益	137,385	69,374	75,626	11,166	293,552	7,409	300,961	△210,186	90,774

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△210,186千円には、セグメント間取引消去1,910千円、のれん償却額△552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,544千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,693,743	1,169,852	94,726	168,166	3,126,490	12,843	3,139,333	-	3,139,333
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,158	-	-	12,300	13,458	-	13,458	△13,458	-
計	1,694,902	1,169,852	94,726	180,466	3,139,948	12,843	3,152,792	△13,458	3,139,333
セグメント利益	155,966	43,421	79,926	28,810	308,125	3,550	311,675	△195,352	116,323

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△195,352千円には、セグメント間取引消去1,931千円、のれん償却額△552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△196,730千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、社内組織の見直しに伴い、経費の配分を変更しています。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの経費配分方法に基づいて作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。